

2020年度(令和2年度) 事業計画

一般財団法人大阪府バスケットボール協会

<競技>

大会名	期日	会場	備考
第35回大阪招待高校バスケットボール大会	4月2日 ↓ 3日	丸善インテックアリーナ大阪	中止決定
大阪府民スポーツ大会バスケットボール競技	5月6日 ↓ 6月13日	東淀川体育館 千島体育館 堺市美原体育館 丸善インテックアリーナ大阪	予選リーグ選 決勝トーナメント戦
第75回国民体育大会近畿ブロック	8月20日 ↓ 23日	滋賀県	
第75回国民体育大会	10月8日 ↓ 12日	鹿児島県	
第67回大阪総合バスケットボール選手権大会	8月29日・30日	箕面市立第1総合体育館 豊中市立豊島体育館	全日本選手権大阪府代表決定戦を兼ねる
第96回天皇杯全日本バスケットボール選手権大会	9月12日 ↓ 2021年3月13日	未定	Bリーグクラブ主管
第87回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会			
1次ラウンド	9月12日・13日	未定	
2次ラウンド	11月28日・29日	岸和田市総合体育館	大阪府協会主管
ファイナルラウンド	12月17日～20日	未定	
大阪バスケットボールカーニバル	2021年2月28日	おおきにアリーナ舞洲	

第22回Wリーグ 大阪大会開催予定

開催日	開催会場	対戦カード	
9月19日(土)	堺市金岡公園体育館	Wリーグ	デンソー vs 三菱電機
9月20日(日)			シャンソン vs 日立HT
9月20日(日)	おおきにアリーナ舞洲 (大阪エヴェッサと共催)	Wリーグ	三菱電機 vs デンソー
10月25日(日)			日立HT vs シャンソン
2021年2月13日(土)	岸和田市総合体育館	Wリーグ	シャンソン vs 三菱電機
2021年2月14日(日)			日立HT vs 新潟
		Wリーグ	三菱電機 vs シャンソン
			新潟 vs 日立HT

< T O >

1. 重点目標

- ・ トップリーグを担当できる知識と技能を持つ T0 担当者の育成。
- ・ FIBA Statistician ライセンス及び FIBA T0 ライセンスを取得できる知識と技能を持つ T0 担当者の育成。

2. 活動方針

- ・ 定期的に講習会を実施し、ルールの理解を深め、技能を磨く。
- ・ トップリーグに限らず、天皇杯・皇后杯や 3 × 3 などカテゴリーを越えて T0 担当者を派遣する。
- ・ JBA が主催する T0 講習会等に積極的に研修生を派遣し、研鑽を積む。

3. T0 講習会 実施計画

No.	開催日	研修会・研修使用大会等	会場	備考
1	2020. 04. 11 (土)	新規 T0 希望者 ガイダンス・講義	大阪府協会事務所	ガイダンス 講義
2	2020. 04. 下旬	中学生 or 高校生 練習試合	未定	実技講習
3	2020. 05. 10 (日)	吹田カップ (中学生)	未定	実技講習
4	2020. 05. 23 (土)	大阪府民大会	東淀川体育館	実技講習
5	2020. 05. 30 (土) or 31 (日)	3 × 3 テストマッチ	未定	実技講習
6	2020. 06. 13 (土)	大阪府民大会 (最終日)	丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)	実技講習
7	2020. 07. 18 (土)	社会人連盟 1 部リーグ戦	丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)	実技講習
8	2020. 08. 29 (土) 08. 30 (日)	大阪総合	箕面市立第 1 総合体育館 豊中市立豊島体育館	実技講習 ルールテスト

4. T0 派遣 計画

東京オリンピック	【T0】野崎 和美 ・ 町中 翔太 【スタッフ】板垣 善久を派遣予定
東京パラリンピック	【T0】板垣 善久を派遣予定
B. LEAGUE	大阪エヴェッサ ホームゲーム (30 試合) へ 延べ 210 名を派遣予定
Wリーグ	大阪府開催の 10 試合へ 延べ 40 名を派遣予定
皇后杯	2 次ラウンドへ 派遣予定
3 × 3 連盟	3 × 3 日本選手権大阪府予選 (オープン・U18) へ 派遣予定
障がい者連盟	日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会へ 派遣予定

その他、各連盟や全国大会等への派遣依頼があれば、積極的に派遣する。

<広報>

ホームページ・Facebook・Twitter を活用し、大阪のバスケットボールの情報源として、さらに充実した内容を掲載し情報発信をしていく。

1. Facebook でのインサイト（利用情報）を活用

アクセス状況が高い時間を分析し、登録者が Facebook を利用している時間帯での情報発信。

2. 新たな Facebook・Twitter 登録者（ファン）の開拓

SNS 利用者へ、スポンサー獲得や大会・イベント告知に広告利用を行い、非登録ユーザーへのアプローチを行う。

3. Facebook や Twitter を利用した企画

主管大会等を通じて、SNS を利用したプレゼントなどのイベントを企画。

4. 動画を利用した発信

文章や写真では伝わらない大会の様子を動画などのコンテンツを利用し、積極的に発信。

5. ホームページの充実

大会情報や結果、新着情報などの情報を始め、各委員会・連盟と連携をする。

<技術統括>

1. 方針

2020 年度は、(公財)日本バスケットボール協会より打ち出された「JAPAN BASKETBALL STANDARD 2016」の理念を受け、「大阪でバスケットボールを楽しむ人が増え、バスケットボールを楽しめる環境が充実し、そして大阪から日本代表選手が生まれ世界で活躍し、それが大阪や日本社会を元気にしていくこと」を理念とし、各委員会がこれまで構築してきたものを更に充実させ、場合によっては各委員会が横断的に協力し、登録チームや選手に対して「育成」・「強化」・「普及」をはかるために事業をすすめていきたい。

「育成」においては DC 事業が 6 年目を迎え、U12 カテゴリーの練習会が実現した。さらに U13 カテゴリーの 5 地区練習会を継続し、U14 カテゴリーでは 8 地区練習会が実現し大阪 DC 交流大会を開催した。今後は U15 と U16 (国体少年男女) とのつながりを考えた体制づくりをすすめていきたい。また、国体少年男女の選手選考・スタッフにおいても U15、U18 の連携強化に努めていきたい。指導者養成では 2019 年度よりコーチデベロッパー制度導入など、コーチに関わるライセンス制度が大きく変更された。制度の変更にしっかりと対応できるよう、研修の充実など、コーチにとっても安心・安全な環境を構築するために適切な支援をしていきたい。

「強化」においては 2019 年度国民体育大会から少年種別が U16 に変更されたため、成年種別で U17、U18 のいわゆる高校生 2・3 年生も対象選手となった。選手選考やスタッフ構成など検討し強化に向け取り組んでいきたい。

「普及」においては U12、U15 の種別で参加できるドリームカップでの参加チーム増加傾向に対する対策と、50 歳以上のシニア大会の開催を通じ普及に努めていきたい。

2. 今後の課題と具体案

(1) 強化事業

①国体(成年種別)事業

- ・ トップリーグを引退した選手の人材活用
- ・ 軸となるチーム、選手の発掘
- ・ 「強豪大阪」に向けたコーチ、指導者の選考
- ・ 学連、社会人連との連携
- ・ 強化練習会、合同練習会の充実、人材発掘
- ・ 若手スタッフ、女性スタッフの発掘と育成
- ・ 継承性を考慮したスタッフ選考

②日本スポーツマスターズ2020への選手選考、派遣

2020年9月19日(金)～22日(火) 開催地：愛媛県

(2) ユース育成事業

- ・ DC事業組織の確立、伝達講習の充実
- ・ 各地区における講習会の開催、特にミニ連との連携
- ・ カテゴリーを越えての交流
- ・ 強化委員会、指導者養成委員会、普及委員会、競技部との連携
- ・ 国体少年種別、DC事業の発展と充実、中高一貫指導体制、マニュアルの確立、長身者の育成

(3) 指導者養成事業

- ・ JBA公認コーチの登録管理
- ・ JBA公認コーチ養成講習会の開催
- ・ 指導者講習会の企画、開催
- ・ 指導者海外研修の充実

(4) 普及事業

- ・ シニア大会開催
2020年10月10日(土) 会場：豊中市立千里体育館
- ・ ドリームカップ大会開催
2020年10月24日(土)、25日(日) 会場：東和薬品 RACTAB ドーム

(5) 3x3事業

- ・ 日本選手権大会への選手派遣、強化

<医科学>

1. スタッフ勉強会の開催

医科学委員、サポートスタッフ（学生を含む）、メディカルチェックスタッフ、有資格の希望者等を募って「勉強会」を開催し、スタッフの各種レベルアップをはかる。年10回程度を予定し、大阪府協会事務局で開催。また、受講者の中から本委員会への貢献度、人格面、経験値などを考慮して活躍を期待できるスタッフに日本スポーツ協会アスレティックトレーナー講習会参加の推薦を大阪府協会に依頼する。

2. メディカルチェック（フィジカルチェック含む）

必要な機材は揃いつつあるが、今年度はスタッフの交通費など予算のめどが立たないため公募するかどうかも含め検討中。

3. トレーナーブース

主催団体の依頼により大会や行事などでトレーナーブースを設置し、選手に対する救護、テーピング、アイシング、ストレッチ指導、トレーニング指導、リハビリ指導などのコンディショニングを業務とする。業務に必要な資材の充実を図る。現場ではLINE動画などで間接的に医科学委員のドクターに指示を仰ぐ等をして、幅広く対応ができるように各分野のスタッフが関わる。

4. 大会へのドクター派遣

大阪協会主催大会や各連盟近畿大会、全国大会、Wリーグ、Bリーグなどへドクター派遣やドーピング検査への協力を行う。

5. DC など協会事業への協力

DC 中央講習会の救護に協力する。メディカルチェックについては予算のめどが立たないため検討中。

6. 協賛医院の募集

ホームページの協賛医院を募集する。

7. 医科学委員会会議の開催

奇数月に会議を行う。委員だけでなく医科学委員会の構成する登録サポートスタッフもオブザーバーとして参加してもらう。

8. 学会発表

5年間の傷害予防調査の結果やメディカルチェックの結果をもとに日本臨床スポーツ医学会や日本バスケットボール学会にて発表を行い、傷害予防についての啓発を行う。

9. ホームページの作成・充実

協会ホームページ内の医科学委員会ページの内容の充実化として、活動記録や傷害予防啓発の発信などをおこなう。

10. U12 チームへの医科学の介入

U12の段階から傷害予防の知識や具体的な予防法等を習得してもらうため、枚方体育協会の地域型総合クラブへの医科学委員の介入をサンプル的に行い、内容についての勉強会を随時開催する。

<審判>

1. 2020年度 大阪府所属審判員

S級 6名：浅野祐樹（中）飯尾勝紀（高）茅野修司（社）黒岡和哲（社）高野晃平（社）
村田尚美（社）

A級 11名：石川淳也（中）大倉哲也（高）太田令菜（高）北村 仁（高）清瀬未喜（社）
田中真規（社）堂國和昭（ミ）花谷槿子（社）開 康寿（中）細見竜太（社）
宮城由紀（社）

2. 重点目標

- ・『公平性・一貫性のある判定力』を持つ審判員の育成。
- ・プレイヤー、ベンチ、観客から信頼を得る審判員の育成。
- ・3P0担当審判員の育成。
- ・次世代を担う審判員の育成。
- ・B、A、S級ライセンス昇格者の育成。

3. 方針

- ①バスケットボール技術向上の為に正しいルールの適応と実践。
実技及び座学講習会を実施すると共に映像を使用しての分解講義の実施。
- ②大きな枠組み以外に細分化した講習会の継続実施。
3P0、2P0、指名強化、女性、B・C・D級、U30、Y0C（ヤングオフィシャル）を対象とした講習会の実施。
- ③カテゴリー、連盟を超えた各種大会への審判交流の実施を行い、各連盟で行う講習会へも積極的に参加する。
- ④他府県及び他ブロックへの審判派遣。
大阪府以外への審判員派遣を行い、普段と違う環境での活動を行う。
- ⑤審判員として常に向上心を持ち、研鑽する努力を積極的に行う。
- ⑥審判委員会HPの活用。
各種大会及び結果、報告書を掲載し情報の共有と提供を行う。

4. 講習会計画

講習会・研修会名	時期	備考
2(3)P0講習会(JBA)	5月	指導部・連盟推薦
3P0講習会(JBA)	6月	上級+指名審判員
女性講習会	4~8月	女性審判員
A級候補審判強化講習会	5~8月	指名B級審判員
B・C・D級講習会	5~10月	BCD級審判員
U30(Y0C)勉強会	5~9月	審判委員会指名
A級研修会(近畿ブロック)	8月	A級審判員
2020年度 昇格審査会	5月	連盟長推薦
JBAルール伝達講習	2~3月	各連盟長
インストラクター研修会	通年2回	3級インストラクター